

まことの道【葉月】八月

はづき

民<sup>たみ</sup>のため

世のため祈る神わざの

しげき御<sup>み</sup>国<sup>くに</sup>は

なほぞ栄えむ



神話冊子「みんなの神さま」を無料で差し上げます。詳しくは神社庁HPをご覧ください。直接お電話(045-761-6387)下さい。

度会常良

家庭祭祀<sup>さいし</sup>のおすすめ

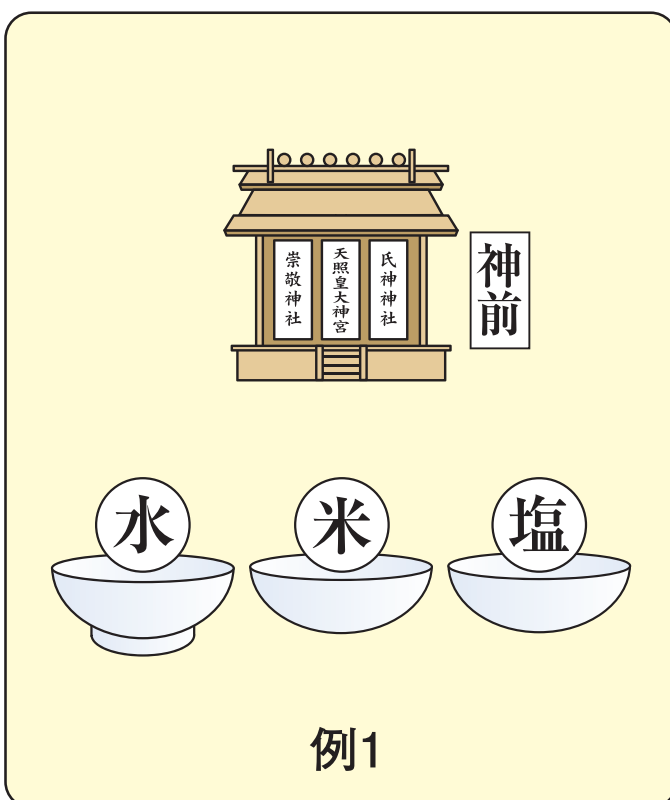
### 家庭祭祀の豆知識「お供え」

神棚には、主に「米」「酒」「塩」「水」をお供えします。毎日お供えするのが理想ですが、毎月1日と15日に新しいものをお供えするなど、出来る範囲で行いましょう。

一番大切なのは丁寧に感謝の気持ちをもってお供えすることです。



例2



例1



神奈川県神社庁  
ウェブサイト



# まことの道

八月

民<sup>たみ</sup>のため世のため祈る神わざの

しげき御国<sup>みくに</sup>はなほぞ栄えむ

度<sup>わた</sup>会<sup>たらい</sup>常<sup>つね</sup>良<sup>よし</sup>

ご自由に一枚づつお持ち下さい。

神奈川県神社庁

〒235-0019横浜市磯子区磯子台20-1

TEL:045(761)6387

FAX:045(761)0100

E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



# 季節のまつり

---

## 旧暦八月十五日　　（十五夜）

お月見の風習は、平安時代に貴族の間で流行し、江戸時代には民間にも広まりました。

旧暦の八月十五日、新暦では九月中旬から十月下旬頃の満月の日を「十五夜」といい、この夜の月を「仲秋の名月」と呼びます。

この時期はちょうど芋類の収穫時期と重なり、収穫された里芋をお供えすることから「芋名月」とも呼ばれ、収穫に感謝する意味があります。